



あけましておめでとうございます！
今年も三宅島の自然情報を楽しくお伝えします。



あかこっこ

あかこっこはインターネットでカラー版が見られます。http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/

281と41と151 この数字の意味は？

これは三宅島で観察できる野鳥に関する数字。281は三宅島ができてから、今までに確認できた野鳥の種数です。その中には1回しか確認できていない野鳥も。台風巻き込まれてやってきたり、迷ってくることもあるからです。下絵のホオジロガモもそんな1羽。2011年の1月だけに見られました。どこからやって来て、どこに行ったのでしょうかね。

昨年度(2017年4月1日～2018年3月31日)に最も多くの野鳥が確認できた日の記録は41種。4月下旬の記録で、この時期は多くの野鳥が渡る頃。三宅島でひと休みする野鳥が多いため、たくさんの種を確認することができるのですね。

アカコッコ館では毎日確認できた野鳥を記録し、1年間で確認できる数を調べています。最後の151という数字は昨年度の記録です。だいたい年間で120～140くらいになる事が多く、昨年の151種はアカコッコ館で調べ始めてから最高の数となりました。2018年度はあと3ヶ月。さてさてこの数を超えることはできるでしょうか。秋冬の渡りのピークは過ぎましたがホオジロガモのような例もあり、まだまだ何がやって来るか毎日ドキドキしながら調べています。

新年最初は基本的な三宅島の野鳥情報のおさらい。春になると多くの人野鳥を見にやってきました。この数字を覚えておくと「三宅島ではどれくらいの野鳥が観察できるの？」と聞かれた時もすぐに答えられますね。

生まれも育ちも
三宅島！

THE三宅っ子!



2011年1月にだけ来たホオジロガモ
迷ってきたのかも!?

■無料開館の知らせ

バードアイランド三宅島にちなんで、毎月酉(鳥)の日が入館無料になります。
1月の無料開館日は12日(土)、24日(木)です。

文・絵/A・N

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館

2019.1 vol.262

■開館 9:00～16:30 ■休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日) ■利用料 200円(中学生以下と65才以上は無料)

■〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田4188 ■TEL 04994-6-0410 ■FAX 04994-6-0458

■E-mail miyakejima@wbsj.org ■HP <http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/> (こちらからはカラー版をダウンロードできます。)

こちらのQRコードからアカコッコ館ホームページにアクセスできます→



イベント情報

野鳥の巣箱をつくろう！

野鳥の巣箱を作って、子育てのお手伝いをしませんか。
作った巣箱はお持ち帰りできます。

【開催日】1月13日(日)

【時間】13:00～16:30

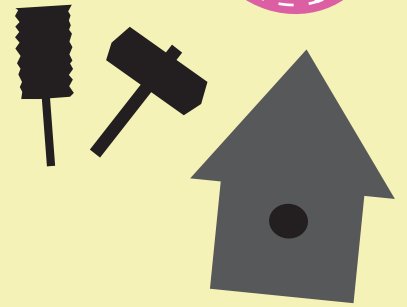
【対象】小学生以上(小学生以下のお子様は大人とご参加ください)

【場所】アカコッコ館

【申込締切】1月11日(金)

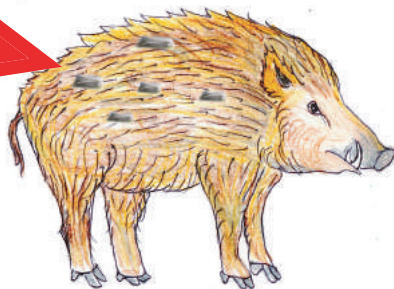
【持ち物】飲み物、動きやすい服、軍手、あればノコギリ 【参加費】無料

申込
必要



三宅島のイノシシ

2019年の干支はイノシシ。ほかの島とつながったことのない三宅島には、イノシシなどの大型のホニユウ類はいませんが、イノシシの名前がついた植物はあります。冬はすこし寒いですが、身の周りの自然をよく観察してみると面白いものが見つかるかもしれませんよ。



イノコゾチ (猪子槌)

草むらを歩いたあと、ズボンに草のタネがついていたりしませんか。

このタネは、動物の体にもつき、中でもイノシシの体によくつきます。このタネをイノシシの子供に見立てて、「イノシシの子づき」からこの名前がついたと言われています。



アスカイノデ (明日香猪手)

ゼンマイやワラビと同じシダ植物の仲間です。葉が広がる前の芽などには、びっしりと毛(鱗片《りんぺん》)がつきます。それがイノシシの足に似ているので、イノシシの手(イノデ)という名前がつきました。

